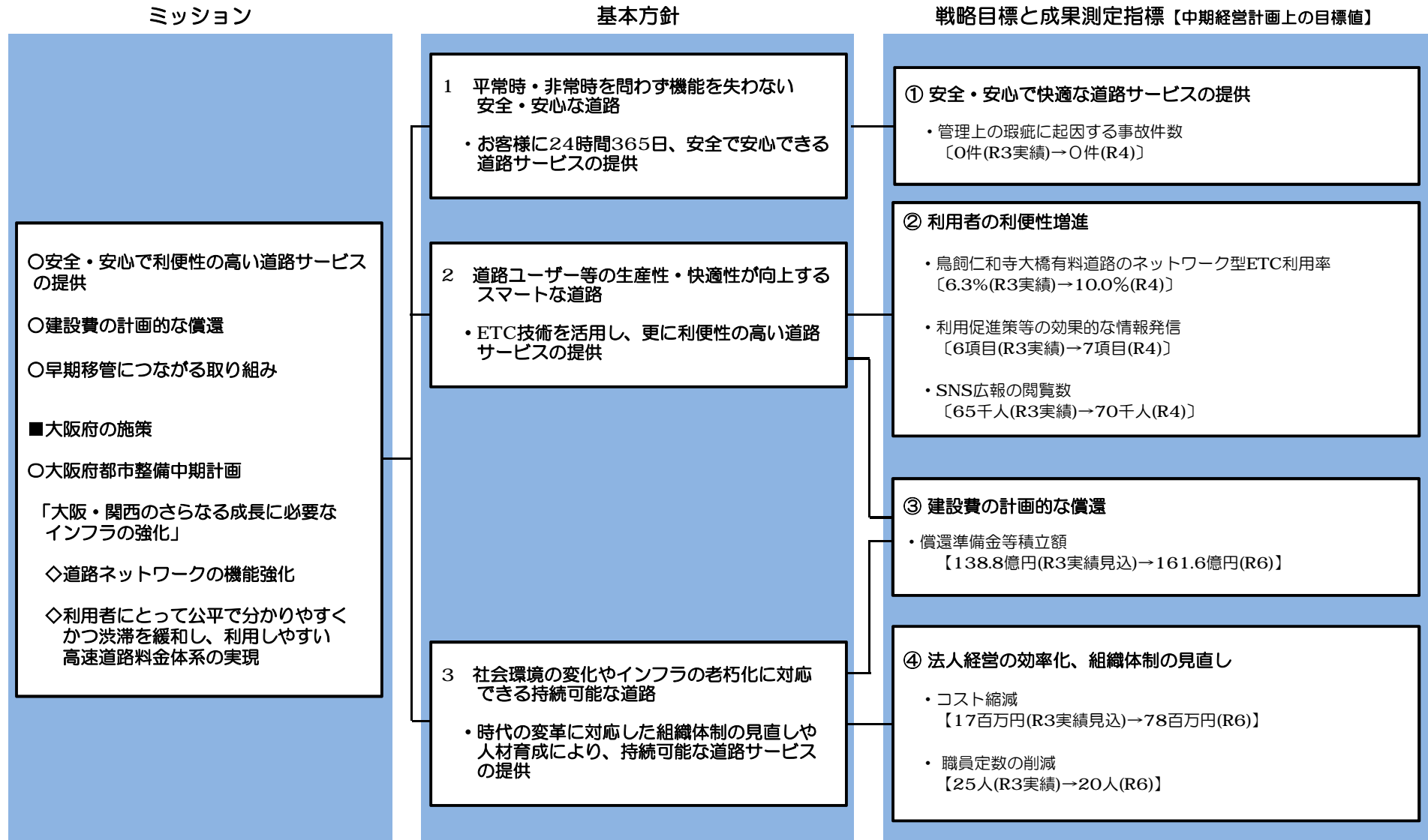


法人名	大阪府道路公社
作成（所管課）	道路室道路整備課

○ 経営目標設定の考え方



法人名	大阪府道路公社
-----	---------

○ 令和3年度の経営目標達成状況及び令和4年度経営目標設定表

I. 最重要目標(成果測定指標)												
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R3 ウエイト	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値 〔見込値〕	R4 目標値	R4 ウエイト	中期経営計画 (R4~R6)		R4目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
										R4 目標値	最終年度 目標値	
③ 建設費の計画的な償還	償還準備金等積立額		億円	40	130.7	136.7	[138.8]	145.6	45	145.6	161.6	継続2路線(鳥飼仁和寺大橋有料道路、箕面有料道路)のR4年度の料金収入、維持管理費等の費用見直しに基づき算定
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)										戦略目標達成のための活動事項		
最重要とする理由、 経営上の位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路公社は、道路管理者に代わって、府の出資金や国の貸付金、市中銀行等からの借入金により、道路整備・管理を有料道路事業として実施しており、定められた料金徴収期間に通行料金収入で建設費を償還し、料金徴収期間が終了した時点で、道路管理者に引継ぐことになる。 ○ 従って、建設費を着実に償還することが道路公社における事業の根幹であり、総合的な指標である「建設費の計画的な償還(償還準備金等積立額)」を最重要の経営目標とする。 										<p>中期経営計画(2022~2024)及び、お客様サービス向上戦略に基づき、以下の取組みを進めることにより、建設費の着実な償還を推進する。</p>	
最重要目標達成のための 組織の課題、改善点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管理路線を適正な状態に保ち、安全・安心で利便性の高い道路サービスを提供するためには、責任ある道路の維持管理(道路施設や設備の定期的な点検、補修や更新などの対策)が必要となるが、無計画で場当たり的な維持管理では、多大な費用と時間が必要となる。 ○ 国の将来予測によると、自動車交通量(走行台・キロ)は減少傾向にあり、そういう状況の中で、管理路線を利用する交通量を確保し、安定的な収入の確保が必要となる。 ○ R2年に発生した新型コロナウイルスへの感染防止対策など緊急事態時において求められる事柄へ柔軟に対応する必要がある。 										<p>①コスト削減の具体的な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまで実施した維持管理方法の工夫、管理水準の見直しに併せて、新たな取組みを追加 ○電力調達方式の見直し <p>②利用促進の具体的な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鳥飼仁和寺大橋有料道路に導入したネットワーク型ETCの利用率向上を目指した情報発信 ○公社のホームページやTwitterを含む、ソーシャルメディアによる情報発信 ○NEXCO西日本のPA・SA、観光協会などでの情報発信 ○近隣の集客施設やイベント等での利便性や等のPR活動 ○周辺の観光施設等とタイアップしたキャンペーンの実施、路線情報リーフレットの発行 ○近畿5道路公社との連携による利用促進策の検討・実行 	
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ R4年3月に策定した「中期経営計画(2022~2024)」に基づくとともに、時代の変革や急激な社会情勢の変化にも柔軟に対応できるよう以下の取組みを行う。 1 コスト削減の取組み 効率的・効果的な維持管理を実施するとともに、これにかかる維持管理費等について引き続き削減に取り組む。 2 利用促進の取組み 観光施設等とタイアップしたキャンペーンの実施、路線情報リーフレットの発行を行うとともに、その内容をソーシャルメディアを通じて発信するとともに大阪府と連携し運輸・サービス業の企業や観光協会などへ情報発信を行い、各路線の知名度の向上と利便性の周知に努める。 3 安全・安心で利便性の高い道路サービス提供に向けた取組み 「大阪府道路公社維持管理方針」に掲げるライフサイクルコストを考慮した予防保全の考え方に基づき、効率的・効果的な維持管理を推進するとともに、事故・渋滞対策の推進、利用者ニーズ、社会情勢の変化を反映したサービス向上に努める。 										<p>③安全・安心で利便性の高い道路サービスの提供に向けた具体的な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常的な維持管理業務の着実な実施(防災・料金収受設備点検等) ○計画的な維持管理(箕面有料道路の非常電話設備更新工事等) ○利用者ニーズを反映したサービス向上及び社会情勢の変化への対応 <p>利用者に対する新型コロナウイルス感染防止対策 鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETC利用率向上</p>	

法人名	大阪府道路公社
-----	---------

II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R3 ウエイト	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値 〔見込値〕	R4 目標値	R4 ウエイト	中期経営計画 (R4～R6)		R4目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合 は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
										R4 目標値	最終年度 目標値		
① 安全・安心で快適な道路サービスの提供	管理上の瑕疵に起因する事故件数		件	10	0	0	0	0	10	—	—	穴ぼこ、路上障害物、雪氷、安全施設不備等の管理瑕疵に起因する事故発生防止のため、365日24時間の交通管理ハットールに加え、公社職員による施設・設備の点検の実施により、事故発生ゼロを目標とする。	お客様の通行の安全性向上を第一に考え、ハットール実施などにより、絶えず管理瑕疵に起因する事故の発生防止を図る。道路構造物を常に良好な状態に保全し、構造物等施設点検の充実を図る。
② 利用者の利便性増進	鳥飼仁和寺大橋有料道路へのネットワーク型ETCの整備		導入	5	—	導入	導入	—	—	—	—	—	—
	鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETC利用率	☆	%	—	—	—	(6.3)	10.0	10	—	—	利用者からの感嘆を不安視する声やETC導入の要望が寄せられ、ネットワーク型ETCを導入したことから、利用者を増加させることで、より一層の整備効果を上げるもの。令和4年度における利用促進効果を計るため、令和5年3月の1ヵ月間における利用率を目標値とする。	ネットワーク型ETC導入の周知を図るため、料金所や物流事業者等への広報活動を実施すると共に、現金利用者に対してのアンケートを実施し、ネットワーク型ETCへの転換を促進する検討を行う。
	日平均交通量		台	10	18,993	20,211	[20,303]	—	—	—	—	—	—
	利用促進策等の効果的な情報発信		項目	5	—	8	×6	7	5	—	—	コロナ禍を踏まえた各路線の知名度や利便性の周知度の向上を図る利用促進策や路線情報の取り組み	路線の知名度や利便性の周知が効果的に図られるよう利用促進策や路線情報を市役所、観光協会、Youtubeなどを活用して適切な時期に発信する。
	SNS広報の閲覧数	☆	千人	—	(60)	—	(65)	70	5	—	—	Twitterを活用して各路線の認知度を向上させるため、閲覧数(インプレッション数)をR3実績を超える人数に設定	路線の認知度向上をが図られるよう、Twitterを活用して魅力的な情報発信を行い、閲覧数を増やす。

III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

利用台数及び安定的な事業収入の確保	有料道路料金収入		百万円	10	1,736	1,886	[1,964]	—	—	—	—	—	—
維持管理方針に基づく計画的な維持管理	維持管理費		百万円	10	903	1,026	[1,010]	—	—	—	—	—	—
④ 法人経営の効率化、組織体制の見直し	コスト縮減額		百万円	10	24	17	[17]	21	10	21	78	これまで実施した維持管理方法の工夫、管理水準の見直し、電力調達方式の見直し等によるコスト縮減の取り組みによる縮減見込額を計上	これまで実施した維持管理方法の工夫、管理水準の見直し、電力調達方式の見直し等によるコスト縮減の実施を継続。
	職員定数	☆	人	—	(25)	—	(25)	22	15	—	20	R3年度職員定数である25人に対し、中期経営計画期間内において3人の職員定数削減を設定	組織体制を部課制からグループ制に見直すことで、事務の効率化を図り、更なる職員定数削減に取り組む。

【凡例】

- ・☆はR4年度からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
- ・()内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

法人名

大阪府道路公社

C S 調査の実施概要

○令和3年度の実施結果

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
利用者アンケート調査	ネットリサーチによる	箕面有料道路利用者	825人	令和4年2月

実施結果の主な内容	実施結果を踏まえた取組
<p>【箕面（令和3年度実施）】</p> <p>総合的な満足度（普通以上91.9%）</p> <ul style="list-style-type: none"> 十分に満足：120人（14.5%） やや満足：319人（38.7%） 普通：319人（38.7%） やや不満：56人（6.8%） 非常に不満：11人（1.3%） わからない：0人（0%） <p>利用者の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 便利（時間短縮）、見通しが良いので不安なく、綺麗なため快適に走れる 単に通行するだけでなく、もっと広範囲に楽しめるサービスを提供してほしい 	<p>（結果を踏まえ実施した取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理者であるNEXCO西日本や大阪府と協議を実施し、新名神高速道路及び国道423号からの誤進入車の対策として、7箇所に看板を設置。 <p>（今後実施予定の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> 近畿圏5公社と利用促進に向けたキャンペーンを共同で実施する。

○令和4年度の実施方針

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
利用者アンケート調査	ネットリサーチによる	鳥飼仁和寺大橋有料道路利用者	800人	令和4年11月

■ 目標値未達成の要因について

法人名	大阪府道路公社
-----	---------

〔1〕

成果測定指標	単位	R3年度目標値	R3年度実績値	目標値との差
利用促進策の効果的な情報発信	項目	8	6	▲2

未達成の要因		要因分析（要因と考える根拠）					要因分析を踏まえた今後の対応	
①	利用促進活動時期の見直し	新型コロナウイルス感染拡大により発令された緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置により、全国的に外出自粛となっていたため、協賛施設や集客施設に外出を促す広報活動を見送ったため。 ○実施した項目（実施時期） ・箕面グリーンロードドライブマップキャンペーン（4月～7月）、月1クイズキャンペーン（4月～7月）、中国道リニューアル工事期間の利便性情報発信（4月～3月）、府立図書館の来訪者へPR（8月）、鳥飼電子マネーPR（4月～2月）、ETCX登録PR（12月～3月） ○実施を見送った項目（実施を予定していた時期） ・箕面グリーンロードドライブマップキャンペーン（8月～3月）、5公社横断利用促進（7月～11月）					今後の新型コロナウイルス感染症による影響が不透明であるため、ソーシャルメディアによる情報発信を実施するとともに、コロナの状況を踏まえ、イベントへの参加を行うことにより認知度向上を図る啓発活動を行う。	
	項目名	R3当初想定値	8	実績値	6	差		
②								
	項目名	R3当初想定値		実績値		差		
③								
	項目名	R3当初想定値		実績値		差		

法人名

大阪府道路公社

■ 成果測定指標変更（廃止）希望の理由について

〔1〕

●変更前

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値
鳥飼仁和寺大橋有料道路へのネットワーク型ETCの整備	導入	導入

●変更後

R4年度の 成果測定指標	単位	R4年度の 目標値
—	—	—

成果測定指標の変更（廃止）を希望する理由	<p>令和4年2月にネットワーク型ETCの稼働を開始し、利用者からの新型コロナウイルス感染リスクを不安視する声やETC導入の要望に対するニーズに応えることができた。</p> <p>今後は、利用者への周知を図ることで、より良い道路サービスを提供するとともに、利用率を上げることで料金收受業務の負担軽減を図り、コスト縮減につなげるため、「ネットワーク型ETCの利用率」を新たな目標として設定するもの。</p>
----------------------	--

〔2〕

●変更前

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値
日平均交通量	台	20,211

●変更後

R4年度の 成果測定指標	単位	R4年度の 目標値
—	—	—

成果測定指標の変更（廃止）を希望する理由	<p>経営目標設定にあたっては、R4年3月に策定した「中期経営計画（2022～2024）」において定めた経営改善行動計画の3つの基本方針「①コスト縮減、②人件費削減、③利用促進強化」を成果測定指標に反映させることが妥当であると考え、最重点目標である「償還準備金等積立額」の目標値を定めるにあたっての指標である「日平均交通量」を廃止する。</p>
----------------------	--

法人名	大阪府道路公社
-----	---------

■ 成果測定指標変更（廃止）希望の理由について

〔3〕

●変更前

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値
有料道路料金収入	百万円	1,886

●変更後

R4年度の 成果測定指標	単位	R4年度の 目標値
—	—	—

成果測定指標の
変更（廃止）を
希望する理由

経営目標設定にあたっては、R4年3月に策定した「中期経営計画（2022～2024）」において定めた経営改善行動計画の3つの基本方針「①コスト縮減、②人件費削減、③利用促進強化」を成果測定指標に反映させることが妥当であると考え、最重点目標である「償還準備金等積立額」の目標値を定めるにあたっての指標である「有料道路料金収入」を廃止する。

〔4〕

●変更前

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値
維持管理費	百万円	1,026

●変更後

R4年度の 成果測定指標	単位	R4年度の 目標値
—	—	—

成果測定指標の
変更（廃止）を
希望する理由

経営目標設定にあたっては、R4年3月に策定した「中期経営計画（2022～2024）」において定めた経営改善行動計画の3つの基本方針「①コスト縮減、②人件費削減、③利用促進強化」を成果測定指標に反映させることが妥当であると考え、最重点目標である「償還準備金等積立額」の目標値を定めるにあたっての指標である「適正な維持管理費の執行」を廃止する。